

IBM.C1000-082.v2023-07-17.q22

試験コード:	C1000-082
試験名称:	IBM Spectrum Protect V8.1.9 Administration
認定資格:	IBM
無料問題数:	22
バージョン:	v2023-07-17
アクセス数:	345
ページビュー数:	220
https://www.jpnpdf.com/IBM.C1000-082.v2023-07-17.q22-mondaishu.html	

最新問題: 1

TRANSITIONAL の SESSIONSECURITY パラメータはどのような場合に使用されますか?

- A. クライアント認証にLDAPまたはADセキュリティを使用する場合
- B. クライアントが SSL 通信をサポートしていないステートレス ファイアウォールをダブルホップ (通過) する必要がある場合
- C. クライアントで 8 文字未満のパスワードが使用されている場合
- D. バージョン V8.1.2 より前のサポートされているクライアントを実行している場合

Answer: ([解答を表示する](#))

IBM の資料 1 によれば、TRANSITIONAL の SESSIONSECURITY パラメーターは、IBM Spectrum Protect ソフトウェアを V8.1.2 以降に更新するときに既存の通信プロトコルを使用したい場合に使用されます。これがデフォルト値です。

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.12?topic=ss-security-concepts>

最新問題: 2

ある部門には、サーバーへの送信中にデータが読み取られたり、ストレージ プールに書き込まれた後にデータが読み取られるのを防ぐために、すべてのバックアップを暗号化するというビジネス要件があります。これらすべての要件を満たす暗号化方式はどれですか?

- A. クライアント側の暗号化
- B. SSL暗号化通信
- C. テープドライブの暗号化
- D. サーバー側の暗号化

Answer: A ([メッセージを残す](#))

IBM のドキュメント 12 によると、クライアント側の暗号化は、バックアップまたはアーカイブ操作のためにデータをサーバーに送信する前にデータを暗号化する方法です。クライアント側の暗号化では、ユーザーが入力したパスワードを使用して暗号化キーを生成しま

す。パスワードは、バックアップ用にファイルを暗号化するときを確認する必要があり、暗号化されたファイルのリストアを実行するときにも入力する必要があります¹²。

クライアント側の暗号化は、次の理由により、送信中および保存中のデータ暗号化のすべての要件を満たします。

データはクライアント システムから送信される前に暗号化されるため、送信中にデータが読み取られるのを防ぎます³。

データはサーバー上で暗号化されたままとなり、user3 が知っているパスワードでのみ復号化できるため、ストレージ プールに書き込まれたデータは読み取られなくなります。

最新問題: 3

技術者はグリッパーで作業するためにテープ ライブラリからすべてのテープを取り出しました。終了すると、テープはランダムなスロットに戻されます。ライブラリー インベントリが正しいことを確認するには、IBM Spectrum Protect サーバーでどのコマンドを実行する必要がありますか？

- A. ラベル LIBVOL
- B. オートローダーのインベントリ
- C. 監査ライブラリ
- D. インベントリの更新

Answer: ([解答を表示する](#))

IBM Spectrum Protect の資料 1 によると、ライブラリー インベントリが正しいことを確認するために IBM Spectrum Protect サーバー上で実行する必要があるコマンドは、AUDIT LIBRARY2 です。AUDIT LIBRARY は、サーバーのインベントリとライブラリ デバイスのインベントリを同期するコマンドです。ボリュームの欠落や再配置など、2 つのインベントリ間の不一致を検出して解決できます。

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.9?topic=utilities-administrative-commands>

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.9?topic=ac-audit-library-audit-volume-inventories-in-automated-library>

最新問題: 4

IBM Spectrum Protect リカバリー ログの使用状況はどのように取得できますか？

- A. クエリデータベース
- B. クエリ DB 領域
- C. クエリログ
- D. クエリ DB T=LOG

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Spectrum Protect の QUERY DBLOG コマンドを使用して、リカバリ ログの使用状況を取得できます。このコマンドは、現在アクティブなログ、およびアーカイブまたは削除されたログに関する情報を表示します。具体的には、このコマンドは、割り当てられているリカバ

リ ログ スペースの合計量、現在使用されているスペースの量、およびまだ使用可能なスペースの量に関する詳細を提供します。

このコマンドを実行するには、次の手順を実行できます。

Spectrum Protect 管理クライアントを開きます。

Spectrum Protect インスタンスに接続します。

コマンドラインに `q dblog` と入力します。

Enterを押します。

コマンドを実行すると、リカバリログの使用状況に関する情報が画面に表示されます。

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.9?topic=utilities-administrative-commands>

最新問題: 5

perfmon ツールは、どのオペレーティング システムのシステムおよび接続されているデバイスのパフォーマンス監視に使用されますか？

- A. ソラリス
- B. Microsoft Windows
- C. Linux
- D. AIX

Answer: ([解答を表示する](#))

Web 検索の結果によると、perfmon は Microsoft Windows オペレーティング システムと統合されたパフォーマンス監視ツールです1234。これにより、システムとシステム上で実行されているアプリケーションのパフォーマンスを調べることができます2。

最新問題: 6

オペレーション センターがレポートを送信できるように、メール サーバー情報はどのように構成されていますか？

- A. [レポート] セクションの [メール サーバーの構成] をクリックします。
- B. dsmserv.opt に SMTPSERVER オプションを追加します。
- C. オペレーション センター構成ウィザードを開始します。
- D. SET REPORTSMTPHOST コマンドを使用して、オペレーション センター サービスを再起動します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.7?topic=solutions-tracking-system-status-by-using-email-reports>

最新問題: 7

すべての管理機能を実行できる特権クラスはどれですか？

- A. システム
- B. ルート
- C. 管理者

D. スーパーユーザー

Answer: A (メッセージを残す)

IBM Spectrum Protect V8.1.9 の資料1 によると、システム管理者は IBM Spectrum Protect で最高レベルの権限を持っています。システム管理者は、任意の管理コマンドを発行でき、他の管理者に権限を付与または取り消す権限を持ちます。

システム管理者の特権クラスは SYstem1 です。root、管理者、スーパーユーザーなどの他の特権クラスは、IBM Spectrum Protect では無効です。

IBM Spectrum Protect (以前の Tivoli Storage Manager) では、システム特権クラスがすべての管理機能を実行できます。システム特権クラスには次の権限が含まれます。

SYSOP: システム操作

AUDIT: 監査操作

セキュリティ: セキュリティ運用

NODEADDP: ノードを追加します

NODEDELP: ノードの削除

MGMTCLAS: 管理クラスの操作

DEVCLASS: デバイスクラスの操作

STGPOOL: ストレージプールの操作

LIBRARY: ライブラリの操作

QUERY: クエリ操作

BACKUP: バックアップおよびアーカイブ操作

RESTORE: 復元操作

ARCHIVE: アーカイブ操作

RESTOREVM: 仮想マシンの操作を復元します

PROXY: プロキシ操作

最新問題: 8

Disaster Recovery Manager (DRM) で使用される move DRMEDIA コマンドは何ですか？

A. ボリュームの DRM 状態を変更します。

B. 1 つの DRM ボリュームを別の DRM ボリュームにコピーします。

C. DRM テープをディスクにコピーします。

D. DRM データベースの場所を変更します。

Answer: A (メッセージを残す)

IBM のドキュメント1 によると、move DRMEDIA コマンドはボリュームの DRM 状態を変更するために使用されます。このコマンドは、オフサイトに移動されるボリュームを追跡し、オンサイトに移動される期限切れのボリュームまたは空のボリュームを識別します。

最新問題: 9

大規模な IBM Spectrum Protect サーバーにサーバー側の重複排除を実装する前に、最適なパフォーマンスを得るために検討すべき 2 つの項目はどれですか？

A. サーバー オプション DEDUPQUIRESBACKUP no が指定されています

- B. 最適な重複排除アルゴリズムが選択されました
- C. データベースのストレージは十分な IOPS を提供します
- D. サーバーには十分なメモリがあります
- E. 利用可能な LAN 帯域幅は十分です

Answer: ([解答を表示する](#))

IBM Spectrum Protect の資料1によると、サーバー側の重複排除は、バックアップ操作中にサーバー上の重複データ ブロックを削除するプロセスです。

したがって、大規模な IBM Spectrum Protect サーバーにサーバー側の重複排除を実装する前に、最適なパフォーマンスを得るために検査する必要がある 2 つの項目は次のとおりです。

データベース用のストレージは十分な IOPS を提供します。IBM Spectrum Protect データベースには高性能ディスクを使用してください。200 GB 以下の小規模なデータベースには、少なくとも 10,000 rpm ドライブを使用します¹。

サーバーに十分なメモリがあること。必要なメモリの量は、同時セッションの数、データ ブロックのサイズ、重複排除率など、いくつかの要因によって異なります¹。

最新問題: 10

クライアント アクセプタ デモン サービス (CAD) がスケジューラを管理するかどうかを指定するには、Linux のどの構成ファイルに MANAGEDSERVICES オプションを追加しますか？

- A. dsm.sys
- B. バックアップ.config
- C. sched.log
- D. dsmserv.opt

Answer: ([解答を表示する](#))

クライアント アクセプタ デモン サービス (CAD) がスケジューラを管理するかどうかを指定するには、Linux¹ のクライアント システム オプション ファイルに

MANAGEDSERVICES オプションを追加する必要があります。クライアント システム オプション ファイルの名前は、デフォルトでは dsm.sys です¹。このオプションを使用すると、クライアント アクセプタ デモンがスケジュールされたアクションごとに必要に応じてスケジューラ プロセスを開始および停止できるようにすることで、ワークステーション上のバックグラウンド プロセスの数を減らすことができます²³。

最新問題: 11

バックアップ/アーカイブ クライアント GUI を使用して NDMP バックアップから個々のファイルを復元するための要件は何ですか？

- A. NAS Filer で FILELEVEL オプションを有効にする必要があります。
- B. バックアップ中に目次 (TOC) を作成する必要があります。
- C. NDMP API 拡張機能がクライアントにインストールされている必要があります。
- D. リストアの前に TOCDESTINATION を選択する必要があります。

Answer: B ([メッセージを残す](#))

IBM のドキュメント 1 によると、バックアップ/アーカイブ クライアント GUI を使用して NDMP バックアップから個々のファイルを復元するための要件の 1 つは、バックアップ中に目次 (TOC) を作成する必要があることです。TOC には、バックアップ/アーカイブ クライアント GUI がリストアするファイルを表示および選択するために使用するファイル レベルのリストア情報が含まれています。TOC は、バックアップ イメージが保存されているストレージ プールとは別のストレージ プールに保存されます。

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.11?topic=servers-file-level-backup-restore-ndmp-operations>

最新問題: 12

自動テープ ライブラリからメディアを削除するにはどのコマンドを使用しますか?

- A. LIBVOL のアンロード
- B. チェックアウト ライブラリボリューム
- C. LIBVOL の取り出し
- D. LIBVOL の削除

Answer: ([解答を表示する](#))

IBM のドキュメント 1 によると、CHECKOUT LIBVOL コマンドは、自動ライブラリのサーバー インベントリから順次アクセス ストレージ ボリュームを削除するために使用されます。このコマンドは、CANCEL PROCESS コマンドでキャンセルできるバックグラウンド プロセスを作成します。

https://www.ibm.com/docs/SSGSG7_7.1.5/srv.reference/r_cmd_libvolume_checkout.html

最新問題: 13

set REPLSERVER コマンドの目的は何ですか?

- A. ローカル サーバーをソース レプリケーション サーバーとして設定します。
- B. ローカルサーバーをターゲットレプリケーションサーバーに設定します。
- C. ソースレプリケーションサーバーの名前を設定します。
- D. ターゲットレプリケーションサーバーの名前を設定します。

Answer: ([解答を表示する](#))

IBM のドキュメント1 によると、SET REPLSERVER コマンドの目的は、ソース レプリケーション サーバーのターゲット レプリケーション サーバーの名前を設定することです。このコマンドには、SERVERNAME と REPLSERVER という 2 つのパラメータがあります。SERVERNAME パラメータは、データの複製元となるソース複製サーバーの名前です。REPLSERVER パラメータは、データの複製先となるターゲット複製サーバーの名前です。

IBM のドキュメント1 によると、SET REPLSERVER コマンドの目的は、ソース レプリケーション サーバーのターゲット レプリケーション サーバーの名前を設定することです。このコマンドには、SERVERNAME と REPLSERVER という 2 つのパラメータがあります。SERVERNAME パラメータは、データの複製元となるソース複製サーバーの名前で

す。REPLSERVER パラメータは、データの複製先となるターゲット複製サーバーの名前です。

<https://www.ibm.com/docs/en/spectrum-protect/8.1.9?topic=servers-whats-new>

最新問題: 14

複数のクライアント プラットフォームが存在する場合、自動クライアント展開のためにソフトウェア パッケージはどのようにダウンロードされますか？

- A. 各パッケージはオペレーション センターで個別に選択する必要があります。
- B. ダウンロードは、お客様が定義したクライアント プラットフォームに従って管理されません。
- C. オペレーション センターは、環境で使用される必要なパッケージをダウンロードします。
- D. 管理者はパッケージを手動でダウンロードする必要があります。

Answer: D (メッセージを残す)

IBM Spectrum Protect V8.1.9 の資料1によると、自動クライアント・デプロイメントは、IBM Spectrum Protect サーバーがクライアント・ワークステーション上のバックアップ/アーカイブ・クライアントを自動的にアップグレードできるようにする機能です。既存のバックアップ/アーカイブ クライアントはバージョン 6.4.3 以降である必要があります。この機能を使用するには、アップグレードするクライアント プラットフォーム用のソフトウェア パッケージを IBM サポート Web サイトからダウンロードする必要があります²³。オペレーション センターまたはコマンドライン インターフェイスを使用して、これらのパッケージをサーバー上のどこに保存するか、およびそれらをクライアントに配布する方法を指定できます¹。

最新問題: 15

LAN フリーのバックアップおよびリストアのパフォーマンスを最適化するには、ストレージ エージェントを構成するときにどのオプションを指定する必要がありますか？

- A. IANFREECOMMMETHOD SHARED MEM
- B. LANFREE SHMMEM を有効にする
- C. ランフリーシュム YES
- D. LANFREESSL SHARED MEM

Answer: C (メッセージを残す)

IBM Spectrum Protect および Spectrum Scale Integration Guide¹によると、LAN フリーのバックアップおよびリストアのパフォーマンスを最適化するためにストレージ エージェントを構成するときに指定する必要があるオプションの 1 つは、LANFREESHM YES です。このオプションにより、ストレージ エージェントとサーバー間の通信に共有メモリを使用できるようになり、スループットが向上し、CPU 使用率が削減されます。

<https://community.ibm.com/community/user/storage/blogs/nils-haustein1/2020/02/29/lan-free-backup-ibm-spectrumscale>

最新問題: 16

Windows system objects can be spread out across multiple volumes, and should be backed up by using which command?

- A. BACKUP REGISTRY
- B. BACKUP SYSTEMSTATE
- C. BACKUP IMAGE C: \
- D. PROTECT SYSTEMSTATE

Answer: B ([メッセージを残す](#))

According to IBM documentation¹, Windows system state objects can be backed up by using the BACKUP SYSTEMSTATE command. This command creates a backup of system state data that includes registry files, COM+ class registration database, system files under Windows File Protection, Active Directory directory service (for domain controllers only), Sysvol directory share (for domain controllers only), Certificate Services database (for certification authority only), Cluster database (for cluster nodes only), and NTDS.DIT file (the Active Directory database).

有効な **C1000-082** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい C1000-082 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **C1000-082** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com C1000-082 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com C1000-082 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/IBM/C1000-082-mondaishu.html> (**6230%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

SET DBRECOVERY コマンドを使用して並列データベース バックアップ ストリームの数を設定する場合、何を考慮する必要がありますか？

- A. 各ストリームには独自のパスワードが必要です
- B. 復元操作には同じ数のストリームが必要です
- C. 複数のストリームはデータベース スナップショットにのみ使用できます。
- D. 各ストリームには独自のボリュームが必要です

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

IBM のドキュメント¹によると、SET DBRECOVERY コマンドを使用して並列データベース バックアップ ストリームの数を設定する際の考慮事項の 1 つは、各ストリームに独自のボリュームが必要であるということです。自動バックアップ用に指定された装置クラスには、指定されたストリームの数に対応できる十分なボリュームが必要です。使用可能なボリュームが十分でない場合、一部のストリームが失敗する可能性があります。

最新問題: 18

サーバーに問題が発生した場合にサポートが使用するデータを収集する、IBM Spectrum Protect のインストール中に自動的にインストールおよび構成されるコンポーネントはどれですか？

- A. システムビュー
- B. サーバーモン
- C. データ収集
- D. パフォーマンス

Answer: A ([メッセージを残す](#))

IBM Spectrum Protect の資料 1 によると、サーバーに問題が発生した場合にサポートが使用するデータを収集する、IBM Spectrum Protect のインストール中に自動的にインストールおよび構成されるコンポーネントは systemview1 です。Systemview は、IBM Spectrum Protect サーバーおよびクライアントから構成およびパフォーマンスのデータを収集するツールです。問題を診断し、パフォーマンスを最適化するのに役立ちま

す。<https://www.ibm.com/support/pages/collecting-data-spectrum-protect-v7-server-install-or-upgrade>

最新問題: 19

VALIDATE REPLPOLICY コマンドの目的は何ですか？

- A. ポリシーがソース レプリケーション サーバーからターゲット レプリケーション サーバーにレプリケートされていることを確認します。
- B. レプリケーション ストレージ ルールのステータスを確認します。
- C. ソース レプリケーション サーバーとターゲット レプリケーション サーバーのポリシーを比較します。
- D. どのノードがレプリケーション用に構成されているかを検証します。

Answer: ([解答を表示する](#)**)**

Web 検索の結果によると、最良の答えは C. ソース レプリケーション サーバーとターゲット レプリケーション サーバーのポリシーを比較することです。このコマンドは、ターゲット レプリケーション サーバー上のポリシーがソース レプリケーション サーバー上のポリシーと一致することを確認するために使用されます¹。

最新問題: 20

クライアント オプション TXNBYTELIMIT の目的は何ですか？

- A. バックアップ ウィンドウ中のクライアント セッション トランザクションの最大数を設定します。
- B. 1 つのクライアント セッション トランザクションに含まれる最大サイズを設定します。
- C. IBM Spectrum Protect と IBM Spectrum Protect Plus 間のアップロード トランザクションの最大サイズを設定します。
- D. クライアント セッション トランザクション内のオブジェクトの最大数を設定します。

Answer: (解答を表示する)

IBM のドキュメント 1 によると、クライアント オプション TXNBYTELIMIT は、クライアント プログラムがデータをサーバーに送信する前にバッファするキロバイト数を指定します。このオプションは、バックアップおよびアーカイブ操作中にデータがサーバーに送信される頻度に影響します。

https://www.ibm.com/docs/SSEQVQ_8.1.8/client/c_opt_cliopref.html

最新問題: 21

Web クライアント サービスをセットアップするユースケースは何ですか？

- A. Web クライアント GUI によるノード構成
- B. Web クライアント GUI を介した NAS サーバーのバックアップ
- C. Web から直接クライアント コード更新をインストールします。
- D. オペレーション センターからのクライアント ノードのリモート管理

Answer: D (メッセージを残す)

IBM Spectrum Protect V8.1.9 の資料1 によると、Web クライアント サービスは、ユーザーが Web ブラウザーを使用してバックアップ バージョンからファイルを復元できるようにする機能です。Web クライアント サービスはバックアップ/アーカイブ クライアント ノード上で実行され、IBM Spectrum Protect サーバーと通信します。

Web クライアント サービスを設定する使用例は、オペレーション センター 2 からクライアント ノードのリモート管理を有効にすることです。オペレーション センターは、IBM Spectrum Protect サーバーとクライアントの集中管理を提供する Web ベースのインターフェースです。オペレーション センターを使用すると、Web クライアント サービスが有効になっているバックアップ/アーカイブ クライアントに関する情報を表示したり、Web クライアント インターフェイスを起動してそれらのクライアント上にファイルをリストアしたりできます。

<https://www.ibm.com/support/pages/ibm-spectrum-protect-version-819-clients>

最新問題: 22

ストレージ階層化ルールを定義した後、ディレクトリコンテナプールからテープへのデータの階層化を開始するには何を行う必要がありますか？

- A. ルールを複製します。
- B. ルールをアクティブ化します。
- C. ルールを実行します。
- D. ルールを関連付けます

Answer: C (メッセージを残す)

IBM Spectrum Protect の資料1 によると、ストレージ階層化ルールを定義した後に、ディレクトリー ・コンテナ ・プールからテープへのデータの階層化を開始するために実行する必要があるアクションは、C. ルールを実行することです。このアクションは、START STGRULE コマンドを使用するか、オペレーション センターで [今すぐ実行] をクリックす

ることによって実行できます1。このアクションにより、スケジュールされた開始時刻を待たずに、ストレージ階層化ルール処理が直ちに開始されます1。

Valid C1000-082 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing C1000-082 Exam! GoShiken.com now offer the **newest C1000-082 exam dumps**, the GoShiken.com C1000-082 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com C1000-082 dumps with Test Engine here: <https://www.goshiken.com/IBM/C1000-082-mondaishu.html> (62 Q&As Dumps, **30%OFF** Special Discount: **Freepdfdumps**)